

解決事例Ⅰ 大好きなお風呂になるべく毎日入りたい

約30年間、パーキンソン病と向き合っているOさんは奥様と息子さんの3人暮らし。息子さんは日中仕事の為、基本は奥様がお本人の介護を15年間行っている。症状が強く出始めた15年前、区役所の理学療法士が自宅の環境指導に来られた際に、お風呂のリフトを勧められました。

実際、お風呂に手動モーターの簡易リフトが設置された直後、奥様は悲しくて涙が出たそうです。しかし理学療法士の言葉を信じ、状態の悪いときに徐々に使用するようになりました。それからリフトは役立つものへ変わり、毎日の入浴に欠かせないアイテムとなりました。



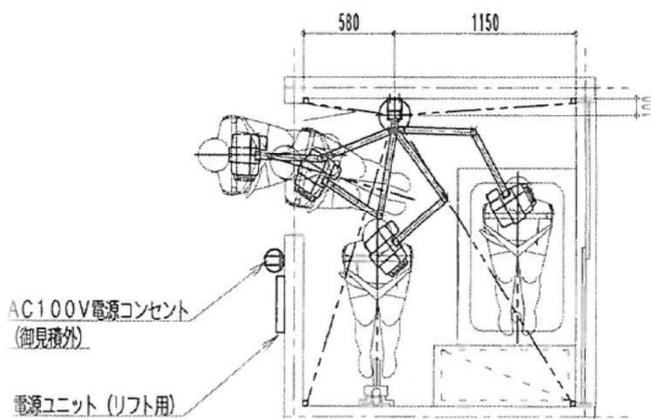
そして入浴のリフトに慣れたころ、普段のベッドから車いすへの移乗も奥様の腰や膝に負担がかかり辛くなってきた為、再度、区役所に相談したところ、紹介されたのがオオタ商会でした。室内のレイアウトに合わせ、室内のどこでも移乗できるようなリフトを。
障害手帳を持っていたことから住宅設備改善費の屋内移動設備という項目で弊社から上記の居室用リフトアーチパートナー隅っこの現物給付を受けました。

その後、最初に入れていた手動モーターの入浴簡易リフトが壊れてしまい、再び、弊社の出番が回ってきました。

ヒアリングと現場調査の結果、廊下からそのまま浴槽に入れるように脱衣所までアームが伸び、浴室段差を越えて、そのまま入浴できるようなリフトを。
介護保険適用の移動用リフトという項目で下の図面の入浴用リフトマイティエースⅡをレンタルするようになりました。

とにかくお風呂が大好きで、毎日でも入浴したい。特に冬場は疾病の影響もあり、手の指先や足関節が拘縮しやすい。

入浴用リフトで思う存分ゆっくりと湯船に浸かった後は、心も体もよくほぐれます。奥様によると、主治医からパーキンソン病はとにかく温めが大事といわれている。入浴後はご本人がよく眠れるようになり、服薬も効果が出やすくなるので、その点でも助かっているとのこと。





ご本人の安全と介助者の安心を弊社のリフトが支えています。
リフトの使用を少しでも検討されている方、
「吊られる」＝「怖い」イメージがあるため躊躇されている方。
まずは、デモンストレーションで体験してみませんか。
オオタ商会は、ご家族やヘルパーの方々が、安心してご利用いただけるよう入念に使用説明や練習を行なっておりますよ。
これを機にぜひお問い合わせ下さい。

ご本人・ご家族の承諾を得て撮影しています。

奥様より感謝のことは

「重度の方が在宅生活を続けるのに最も大事な事は、1つに良い主治医に出会う事。2つめに良い仲間と出会う事。3つめに良い福祉機器に出会う事です。

環境がしっかりと整えば、自宅での介護は克服できると信じていますし、入浴が本人の毎日の楽しみや生きがいになっていることは間違いありません。

これだけの環境を整えてくれたオオタ商会さんに感謝しています。

私たちもリフトを入れる前はとても抵抗があったのですが、同じ区内のリフトを導入されたお宅にお邪魔し、勉強した上で導入を決めました。

少しでも興味のある方はオオタ商会さんに相談してみたいかがですか。

見学したい方がいれば、ぜひ見学に来てください。

リフトで助かるお宅が1件でも増えてくれることを心から望んでいます。

今となっては、リフトは家族にも、本人にもメリットがあるものです」



好きな時間に気兼ねなく浴槽に浸かれて、拘縮部位も清潔になり、入浴後はタオルを握れるようになり、腕の上下運動も出来るようになります。

浴室：ミクニ マイティエースⅡ浴室セット 介護保険適用レンタル 月額 2,800 円

ウェルネット研究所 スリングシート 脚分離ハーフ Mサイズ 介護保険適用購入 43,000 円

(受領委任払いで実質 4,300 円のご負担)

居室：明電興産 アーチパートナー隅っこ 障害者日常生活用具制度 屋内移動設備 現物給付

ウェルネット研究所 スリングシート セパレートスリング Mサイズ 自費購入 44,000 円

実費負担は黄色い部分のみです。